

第26回 日本健康太極拳協会 熊本県支部大会

2011年5月8日(日)・熊本市総合体育館にて開催

第26回 日本健康太極拳協会 熊本県支部大会は、県内各地より800余名の参加者とともに、熊本市総合体育館大体育室で開催されました。昨年までと進行内容を少し変えて、午前中に昇段審査会、午後に支部大会の形式で行われました。

昇 段 審 査 会

昇段審査には、初伝に45名、中伝に28名、奥伝に37名、指導員に25名、準師範に17名、師範(本選は九州ブロック大会)に6名の受審がありました。

< 初 伝 >



< 中 伝 >



< 奥 伝 >



< 指 導 員 >



< 準 師 範 >



< 師 範 >



プログラム

日本健康太極拳協会 揚名時八段錦 太極拳 昇段審査会 初任中任奥任指導員 準師範10名 （実演9名）	第千六回熊本県支部大会 プログラム
昇段審査会	第一部 開会行事（12時30分～13時）
	一、開会宣言 二、支部長あいさつ 三、本部理事あいさつ 四、来賓紹介
	第二部 不老春プレゼント 松壽延年不老春
	第三部 寿太極拳不老春 いっしょでしお元気で
	第四部 講演会 長尾和治先生 （御幸病院名誉院長）
	第五部 全員演舞 全員で舞えよう 一、準備運動（練功大法 前後） 二、五種スワイチ・八段錦
	第六部 地域別揚名時八段錦太極拳 心とあわせて （熊本県中央地区 城南地区）
	第七部 教室担当講師演舞 （不老拳 百花拳）
	第八部 エニヨイチ
	第九部 五禽戯
	第十部 閉会のあいさつ（16時）

第 1 部 : 開会行事

開会に先立ち、東日本大震災で犠牲になられた方々に対して1分間の黙祷が行われました。

開会行事は、丸山副支部長により開会が宣言され、荒木支部長からは、

「皆様とともに仲間がつどうことができる幸せを感じています。太極拳を継続させてご自身のため、家族のため、地域のためになるふれ合いの輪が広がっています。今日は、これから暫くの間、共に過しましょう。」

と挨拶がありました。



牟田本部理事からは、本部理事として6年間の勤めと感謝のご挨拶をいただきました。

第 2 部 : 不老春プレゼント

恒例となった不老春プレゼント(80歳以上)の今年の受賞者は、67名の方々。熊本県支部の層の厚さと元気で太極拳に励んでおられることに勇気づけられました。

また、本田 健一郎様よりお礼の挨拶がありました。



第 3 部 : 寿太極拳

不老春プレゼントを受けられた方々による熟練の「不老拳」の演舞がありました。



第 4 部 : 講演会

講演会は、長尾 和治先生（御幸病院名誉院長）
「太極拳で健康長寿」と題しての健康に関する講
話があり、“太極拳が心身に及ぼす効果”を
プロジェクターを併用しながら解かりやすく、
説明をいただきました。



第 5 部 : 全員演舞

全員演舞は、東 事務局長のリードによる「練功十八法・前段」と、松永理事リードによる「立禅・用手・八段錦」。



第 6 部：地域別・24式太極拳

地域別・24式太極拳は、城北地区・中央地区・城南地区に分かれて楊名時24式太極拳の演舞。地域の意気があったものとなりました。

< 城北地区 >



< 中央地区 >



< 城南地区 >



第 7 部：教室担当講師表演

教室担当講師による表演は、各地で指導にあたっている講師による、「不老拳」「百花拳」の優雅な演舞が披露され会場を魅了。



第 8 部：Any 3 Taichi

健康介護に応用できる「Any 3 Taichi」は、県内3人の研修指導員を中心に観覧者を含む会場全体で実施されました。



第 9 部 : 五禽戯

荒木支部長のリードで五禽戯を全員で演舞しました。その際、2階席で観覧されていた方達も演舞されており、親しみのある種目でした。



第 10 部 : 閉会のあいさつ

閉会は、牟田副支部長より挨拶がありました。

「ここから新たな始まりです。楊名時太極拳の「健康第一、友と仲良く、和を大切に」のスローガンの下、日々練習に励み、また来年元気にお会いいたしましょう。」

参加者の皆様、役員・実行委員の皆様お疲れさまでした。

